



徳島阿波おどり空港と鳴門・南あわじを結ぶ新たなリムジンバス 「UZS BUS（ウズバス）」の運行開始について



特設サイト

図交通政策課 ☎ 43-5262

南あわじ市では、徳島阿波おどり空港からの二次交通の充実を図るため、徳島県との広域連携により、徳島阿波おどり空港と鳴門市および南あわじ市を結ぶ新たなリムジンバスの実証運行を7月20日から開始しました。

バスの名称 「UZS BUS（ウズバス）」
※「渦潮」のU、「うず助」のZ、「すだちくん」のSから命名

運行便数 航空便の発着に合わせて運行
■上り（空港発） 全9便
■下り（南あわじ市発） 全8便

停留所 徳島阿波おどり空港⇨鳴門駅前⇨アオアヲナルトリゾート前⇨大塚国際美術館⇨淡路島南IC⇨陸の港西淡⇨福良

運行事業者 徳島バス株式会社、みなと観光バス株式会社、淡路交通株式会社

バスのデザイン 南あわじ市と徳島県の連携事業として、それぞれの公式キャラクター「淡路うず助」と「すだちくん」を組み合わせたバスラッピング。

※詳しくは特設サイトをご覧ください



社会を明るくする運動 犯罪や非行のない、安全で安心な社会を目指して

第76回「社会を明るくする運動」南あわじ市推進委員会が7月11日、ショッピングセンター・シーパで同運動の啓発イベントを行いました。

同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪や非行のない地域社会を築くことを目的としています。毎年7月は同運動強調月間・「再犯防止」啓発月間となっており、全国的に啓発活動が展開されています。

啓発イベントでは、淡路保護区保護司会南あわじ分区分の小島一会長から市推進委員長の守本市長に、内閣総理大臣のメッセージが伝達されました。また、八木保育所の園児15人が、買い物に訪れた人に声掛けをしながら、啓発グッズを配布しました。



啓発活動を行う市推進委員会のメンバーと園児たち

第76回社会を明るくする運動統一テーマ

「保護司をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」
市内で活動している3つのボランティア団体を紹介します。

保護司

保護司は、犯罪や非行をした人の相談に乗ったり、アドバイスをしたりするなど、身近に寄り添いながら立ち直りを支える民間ボランティアです。地域においても犯罪予防活動や啓発を行っています。

更生保護女性会

女性の立場から、非行や犯罪に陥った人々を間接的に支援し、子どもたちが健やかに成長し非行に至らずにすむように、地域で活動しているボランティア団体です。

兵庫県BBS連盟淡路地区会

さまざまな課題や悩みを抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接しながら、一緒に悩み、学び、楽しむことを通じて、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。

更生保護に関心のある人は、私たちと一緒に活動してみませんか。

今月の表紙

みんなの学校図書館

写真：福良小学校の児童と福良こども園の園児が本を通じて交流している様子

場所：福良小学校

南あわじ市の学校図書館は、本を読むだけの場所ではなく、学び、人とつながり、安心して過ごせる場所へと広がっています。
市立図書館の魅力もあわせて紹介する4ページからの特集を、ぜひご覧ください。



今月の内容

P3	市政ひろば ・「UZS BUS（ウズバス）」の運行開始
P4-9	・みんなの学校図書館 ・図書館の魅力、再発見
P10-19	お知らせ ・高額療養費制度が見直されます ・じんけんサマーフェスティバル2026 ・松帆銅鐸重要文化財指定記念講演会
P20-23	情報瓦ばん 募集、催し、相談 ほか
P24-25	いきいき健康生活 健康カレンダー、休日応急診療所
P26	子育て広場、家庭で楽しむ学校給食
P27	ケーブルテレビからのお知らせ、大会結果
P28-31	まちかどトピックス ・第18回南あわじ市文化芸能祭 ほか ・枕崎市と災害時相互応援協定締結 まちの動き
P32	若者ふるさと応援便

ふれあい 市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

防犯意識を高め、安全・安心な地域づくりを

毎日のようにニュースで目にする「特殊詐欺」、遠くの出来事のように感じておられますか。実は、南あわじ市でも昨年から今年にかけて多くの事件が発生し、被害総額は1億円を超えています。

例えば、警察官や役所の職員、家族などになりすまして電話をかけ、お金やキャッシュカードをだまし取る手口があります。警察官を名乗る人から「あなたの銀行口座が犯罪に利用されている、警察でチェックするからお金を移動して欲しい。」と電話で警告され、その後、金融機関からも同じ趣旨の連絡があり、次第に信用して指定された口座に振り込んでしまいます。「自分は大丈夫」と油断していると、人間の心理の弱みをついた手口に引き込まれてしまうのです。

また、偶然の出会いのふりをして仲良くなり、投資話を持ちかける「投資詐欺」、異性を装って恋愛感情を抱かせた上で一時的な金銭の用立てを依頼したり、

投資を勧誘する「ロマンス詐欺」など、手口は年々巧妙になっています。

特殊詐欺だけでなく、「高額報酬」「簡単に稼げる」といった言葉で若者を誘う、いわゆる「闇バイト」も深刻な社会問題となっています。軽い気持ちで応募すると、特殊詐欺や強盗、空き巣などの犯罪に巻き込まれ、取り返しのつかない事態に陥ります。南あわじ市でも、応募してしまったと警察に相談に来た事案があるそうです。

さらに、島外からの窃盗グループによる空き巣などの侵入窃盗も増加傾向にあり、南あわじ市も、日本全体の犯罪件数増加の波に巻き込まれています。

このように、犯罪の手口が多様化し、件数も増加傾向に転じる中、日頃の備えがとても大切になっています。防犯機能付き電話を設置する、外出時は戸締まりを徹底する、また、少しでも疑いのある電話を受けた場合や近所で不審な車、人物を見掛けた場合には、警察に相談するなど、ご家庭やご近所で犯罪の危険性について話し合い、対応方針を共有しておくことが、大きな力となります。

南あわじ市がこれからも安心して暮らせるまちであり続けるためには、市民の皆様一人ひとりの防犯意識と地域のつながりが欠かせません。家族や地域で声を掛け合いながら、犯罪に負けない、安全・安心なまちづくりをとともに進めてまいりましょう。